

研究発表 I

学校名 神奈川県立深沢高等学校 P T A

研究テーマ ^{しんしんきえい}「深々気鋭～完校に向けた取組と深沢 history！」

1 はじめに

深沢高等学校は、高校百校計画により新進気鋭の最後の設置校として昭和 61(1986)年 4 月に開校された全日制普通科、17 学級規模の学校である。

古都鎌倉の西の方に位置し、最寄り駅は湘南モノレールの湘南深沢駅だが、生徒の通学利用では J R 藤沢駅が最も多い。校地の一部は藤沢市に含まれる。

学校創立から 37 年めの令和 4 (2022)年 9 月に発表された高校再編計画第Ⅲ期中で、藤沢清流高等学校との再編・統合が発表された。在校生とその保護者、先生方は大きな衝撃を受けたものの、日々の学校活動は落ち着いて進められ、二度の入学選抜を無事に終えて第 38 期生、第 39 期生を迎えることができた。

今回は、完校に向けた取組とこれまでの深沢高校の歴史を振り返って発表させていただく。

2 学校紹介

最後の入学生となった第 39 期生募集用に本校生徒会が作成した V T R で学校紹介をさせていただく。

○ 施設 独立した茶室があり茶道体験教室等の文化活動に利用されている。

○ 行事 学校行事は多く、保護者も積極的に参加し、P T A として協力し貢献している。

6 月：体育祭 ←P T A が麦茶を提供

7 月：新川清掃 (ボランティア活動)

8 月：インターンシップ (1 年生)

9 月：深校祭 (文化祭) ←P T A も参加

12 月：球技大会 ←P T A が豚汁を提供

3 月：合唱コンクール ←保護者参観

3 P T A 委員会紹介

深沢高校の P T A は本部と 4 つの委員会から成り立っている。本年度の活動を中心に紹介したい。

○ P T A 本部

体育祭では麦茶を提供し、球技大会では豚汁を提供している。いずれも生徒たちから好評である。



麦茶提供のテント



学年ホールでの豚汁提供

○ 環境整備委員会

40 人ほどのメンバーで学校内の花壇の手入れを行っている。ハロウィンやクリスマスの時期には昇降口前にある「希望の塔」に飾り付けをしている。また、卒業式会場にも鉢植えの花で花道を作り、卒業生を祝っている。いずれも好評である。

今年の文化祭ではワッフルや唐揚げを販売した。



「希望の塔」と花壇

○ 交通安全委員会

年2回の下校指導を行っている。自転車通学の生徒も多く、保護者目線での声かけを心掛けている。

今年の文化祭では交通安全関連の展示と、景品を用意した交通安全クイズを行った。

○ 広報委員会

年2回の広報誌発行を行っている。学校行事の取材に飛び回るほか、編集会議をまめに開いており、学校ホームページとともに深沢高校からの情報発信を担っている。

今年の文化祭では「希望の塔」を刺繍したオリジナルトートバッグを作成、販売した。

○ 企画委員会

会員の生涯学習と相互親睦を目指して活動している。今年度は校内でのボクササイズ教室、秋の日帰りバスツアーを企画し、会員の皆様に楽しんでもらった。

また、文化祭ではバスボム（入浴剤）づくりとコロッケ販売を行った。

4 完校への準備

ご存じのとおり、深沢高校は令和9（2027）年3月末で完校する。生徒が減り、校舎施設も空にしていく。その取組の概要を紹介する。

下図は完校までの工程表である。

【深沢高校の現状と課題】

今年度は3年生6クラス、2年生6クラス、1年生5クラスの全校で17学級、全校生徒数660人ほどの規模である。

この学校規模は今年が最後で、来年度は生徒や職員数が2/3になり、再来年度は1/3になる。

学校では昨年度から備品や消耗品の整理のためのリスト作成や、生徒会規約の改定を行ってきた。

【深沢高校PTAの課題】

生徒数減に伴ってPTA会員数や会費収入が減少していくことになる。そこでPTAとしての課題を検討し、次のように整理した。

○ 備品・消耗品の整理

4年にわたるコロナ禍をはさみ、うまく引き継がれていない物品もある。

○ 来年度以降の予算の検討

会費収入が減少する中で、上手く予算編成をして、しかも最後の年には残金をゼロにして3月末に締めなくてはならない。

○ PTA規約の改定の検討

新規の会員が入らないことで、役員や委員の任期、役員数、会費のこと等を検討しなくてはならない。場合によっては、現在は役員と委員のみが加入している高P連団体傷害保険を、最終年度は全会員に切り替える必要性も考えている。

深沢高校 PTA運営委員会資料		令和5年3月7日 副校長																										
深沢高校のPTA活動について、今後の見通しをつける上での資料を作成しました。ご確認の上、課題の検討をお願いします。																												
非活用校にかかる行程表																												
年度	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024																									
月	10	11	1	3	2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	3	2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	3
生徒募集	37期生(6)		38期生(6)		39期生(5?)		3学年が揃う最後の年		2, 3年生のみ在籍		3年生のみ在籍																	
PTA活動	課題の検討 ・校内：各委員会の活動 ・対外：高P連活動		課題の検討 ・校内：各委員会の活動 ・対外：高P連活動		備品・消耗品のリスト作成		備品・消耗品の整理		備品・消耗品の整理		PTA会費口座の精算(年度末0決算) ・5月総会 ・3月総会(解散)																	
学徴金 運営協 議会	5月：令和4年度第2回 11月：令和5年度第1回		5月：令和5年度第2回 11月：令和6年度第1回		5月：令和6年度第2回 11月：令和7年度第1回		5月：令和7年度第2回 11月：令和8年度第1回 3月：令和8年度第2回		5月：令和6年度第2回 11月：令和7年度第1回		5月：令和7年度第2回 11月：令和8年度第1回 3月：令和8年度第2回																	
参考 (校務)	備品・消耗品のリスト作成		備品・消耗品のリスト更新 (繰上り清償への移管を優先する)		備品・消耗品の放出開始 ・各私費口座の整理 職員数2/3		備品・消耗品の放出完了 職員数1/3																					
記念事業 (案)	準備委員会	実行委員会設置 完校記念誌の編集 記念式典計画	完校記念誌発行 校歌の作成(合唱の優勝メロディ) 芸術鑑賞会(演劇)兼記念式典	記念誌・DVD完成 お-A&Sシアター 記念室設置準備	卒業式・完校式典 お-A&Sシアター 記念室設置																							

【PTA各委員会の課題調査】

PTA各委員会の課題を知るため、各委員長にアンケート調査を行った。

- Q1. 会員数や予算が減る問題点
- Q2. 役員・委員の再募集が必要か
- Q3. 生徒が少なくなることによって、新たにやってみいたいこと
- Q4. 本部や他の委員会にお願いしたいこと

○ PTA本部

予算面は、予算の範囲内でできることをするので問題なし。

役員の再募集は、会計監査が1年任期のため必要になる。

体育祭の麦茶提供や球技大会での豚汁作りは、他の委員さんに今まで以上のお手伝いをお願いすることになると思う。

○ 環境整備委員会

生徒数、委員数が減っても手入れをする花壇のスペースは変わらない。

予算が少なくなるのは必然だが、毎年咲く花を植えるにあたり、比較的安価な花を手に入れて植えていき、活動内容が今ほど充実できなくても「綺麗」を維持していきたい。

委員の再募集は賛成だが、増員は難しいのでは？保護者お手伝い枠、学校技能員さん、生徒さんたちに美化委員を立ち上げていただいて、水やりのお手伝いをしてもらえると助かる。新たなコミュニティの繋がりにもなるように思う。水やりスケジュール管理が課題。

○ 交通安全委員会

委員数・予算とも問題なし。

文化祭の時だけ、お手伝いをしてくれる方がいると助かる。

必要なイベントだけサポーターを募集してはどうか。

○ 広報委員会

学年・生徒数の変化で広報誌の撮影日数・ページ数が変化するので、委員の人数や予算は現状で問題ない。

○ 企画委員会

現状の委員数でできることをやればよいと思うので、再募集の必要はない。

他の委員会へのお願いとしては、講習会やバスツアー等に積極的に参加してほしい。

【PTAとしての課題のまとめ】

会計監査と役員・委員の募集をどのように行うか、お手伝いサポーター等を募集するならば、どのような募集方法で、どのように管理していくのか等を、これから考えていくことになる。

また、来年度以降、人数が少なくなることによって、コロナ禍前に行っていた生徒会とのPS会議（保護者代表と生徒会代表との情報交換会）や合唱コンクールへの参加等、小規模だからこそできる企画も考えていけるのではないかな。

5 深沢 history !

深沢高校が開校し、今年で39年め。完校まで残り2年半で、この学校は幕を閉じる。皆様に少しでも深沢高校のことを知っていただきたい、これまでの歴史を簡単に紹介していきたい。

① 学校創立

深沢高校は昭和61(1986)年4月に第1期生180名が入学。しかし校舎の建設が間に合わず、鎌倉市山崎に建設されたプレハブ校舎での開校となった。



プレハブ校舎の前で（創立十周年記念誌から転載）

② 校舎落成と移転

開校から1年半後、ようやく仮校舎から新校舎へ移転することができた。現在のPTA本部役員にも、この時の引っ越しの経験者があり、あの時のピッカピカの新校舎の感動を忘れずにいる。

⑥ 完校に寄せる卒業生の思い

開校から37年を経た令和4(2022)年9月29日、本校と藤沢清流高校との再編・統合が、校内放送によって校長先生から生徒に発表された。このニュースは在校生はもちろん、卒業生の間でも衝撃をもたらした。

そこで、先月9月に行われた文化祭に多くの卒業生が来校されたので、何名かの方に「深高がなくなってしまうと聞かされた時の気持ち」をインタビューさせていただいたので紹介する。

◎(当時の2年生は)修学旅行中だったので、旅先で昼食時に知った。ジンギスカン料理を食べながら泣いている子もいた。

◎3時間目、校内放送で知った。今トイレをリニューアルしているのに…ありえないと思った。

◎文化祭などで学校に来ていたので、高校時代を思い出す機会となっていた。それができなくなることは寂しい…。

◎もともと、数年後には老人ホームになるという噂だったので、ここまでよく頑張った。

◎アニメ化されたことで盛り上がったことを覚えている。先生方が良かった。人との関りが良かった。帰ってくる場所がなくなってしまうのは寂しい…。

◎最後の生徒達が卒業するまで盛り上げたい。などなど、深沢高校を思う卒業生も多く、PTAでは先生方と協力して、今後、在校生と卒業生の橋渡しをしていけたらと考えている。

6 おわりに

正直なところ、2年前に藤沢清流高校との再編・統合による完校のニュースを聞いた時、生徒数も役員数も減っていくなか、PTA活動が今まで通り活動できるかとても心配だった。

だが、統廃合発表後の昨年度も、最後の入学生受入れとなった今年度も、ともに募集定員を超える入学希望者が集まり、入学手続きでのPTA役員勧誘の際も、各委員会に意欲あるメンバーが数多く入ってくれた。

完校まで残り2年半。最後の年まで先生方と協

力して、子どもたちの充実した学校生活を支えていけることと思っている。



第37回深高祭ポスター テーマ「深々気鋭」

例年、深高祭のテーマには「深」の文字を組み入れて設定している。